



第 15 号

2019 年 (平成 31) 年 1 月 11 日

映像メディア英語教育学会 九州支部事務局 発行

Newsletter

映像メディア英語教育学会 九州支部

The Association for Teaching
English through Multimedia (ATEM)
Kyushu Chapter



〒890-8565 鹿児島県 鹿児島市 高麗町 6-9

鹿児島女子短期大学 吉村 圭研究室

TEL. 099-254-9191(代)

Email:k_office@atem.org

URL: <http://atem.org/kyushu/>

編集：福田 浩子

Contents

Page1 巻頭言／全国大会報告

Page2 支部大会報告

ATEM 九州支部 2019

ATEM九州支部会員の皆様

2019年も九州支部をよろしくお願ひします。

さて、昨年は何かと「記念すべきこと」が多い一年となりました。まず学会の大きな変化として、当学会が「映像メディア英語教育学会」へと改称したことがあげられます。これによって、ATEMでは映画に限らず、TVドラマや他の視聴覚メディアも扱ってゆけることとなります。また教育に限らず、英語学、文学、文化論等、さまざまな分野での研究成果の発表も可能です。学会としてのすそ野が広がり、これからますます多様な研究が行われてゆくことを期待しています。

九州支部では、8月25日(土)に北九州市立大学で行われた九州支部研究大会が、第20回という節目を迎える大会でした。大会当日は6件のご発表があり、多くの方々にご参加いただきました。20回目を記念する大会として、大変実りの多いものとなりました。また、同日の支部総会では、進藤三雄先生(熊本県立大学)と松尾祐美子先生(宮崎公立大学)の運営委員へのご加入をご承認いただきました。心強いお2人のご加入により、ますます支部の運営がにぎやかになってゆきそうです。これからますます充実した九州支部にしてゆければと思っています。さらに多くの皆様の支部大会へのご参加、ご発表を楽しみにお待ちしております！

映像メディア英語教育学会九州支部
支部長 吉村 圭 (鹿児島女子短期大学)

【全国大会報告】

2018年10月27日(土)に京都外国語大学にてATEM全国大会が行われました。九州支部からは2件のご発表があり、支部企画としてシンポジウムも実施しました。

シンポジウムでは、「ディズニー映画音楽の魅力」というタイトルで、吉村圭、石田もとな先生、村田希巳子先生の3名で、ディズニー映画音楽の教育現場での活用について発表しました。

「“Hakuna Matata”を用いた文学講義への導入」



吉村 圭 (鹿児島女子短期大学)



石田 もとな (吉備国際大学大学院)

「A Whole New World を題材とした事例 (英語嫌いの学生たちのモチベーションアップ)」

『アナと雪の女王』と
“Let It Go” の魅力」



村田 希巳子 (北九州市立大学)
(文責・写真提供 吉村 圭、秋好 礼子)

～ 九州支部研究大会 2018報告 ～

第20回は 2018年8月25日(土)に北九州市立大学北方キャンパスにて開催されました。ATEMが「映像メディア英語教育学会」(The Association for Teaching English through Multimedia)としてあらたに船出をした年の九州支部大会でもあり、また第20回という節目の年でもある記念すべき大会でもありました。

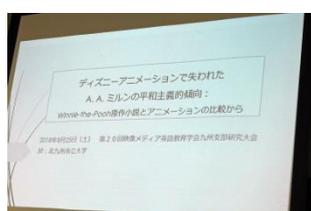


今回は「教育における映像メディアの可能性」(Possibility of Multimedia in Education)という大会テーマで、九州支部会員による研究発表4題に加え「支部交流発表」として西日本支部より河野弘美先生と横山仁視先生にも御発表いただきました。残(猛?)暑厳しい8月開催でしたが、多数の先生方に御参加いただいた大変有意義研究大会となりました。

研究発表の詳細は以下のような内容でした。(敬称略)

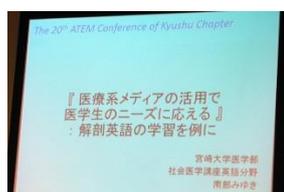
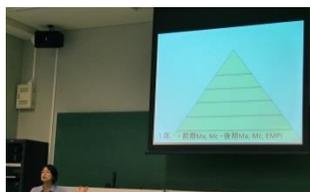
1. 「ディズニーアニメーションで失われたA. A. ミルンの平和主義的傾向：Winnie-the-Pooh 原作小説とアニメーションの比較から」

吉村 圭 (鹿児島女子短期大学)



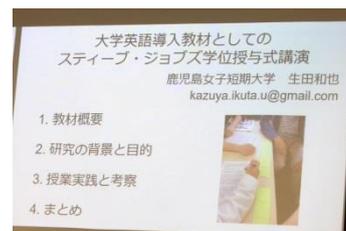
2. 「医療系メディアの活用で医学生のニーズに応える：解剖英語の学習を例に」

南部 みゆき (宮崎大学)



3. 「大学英語導入教材としてのスティーブ・ジョブズ学位授与式講演」

生田 和也 (鹿児島女子短期大学)



4. 「言語学的視点から見た言語資料としての映画の台詞について—『ソーシャル言語学の意味論的再検討』の刊行によせて—」

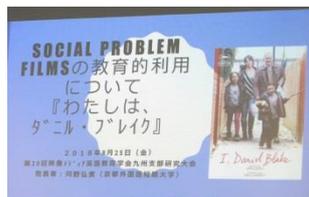
松中 完二 (久留米工業大学)



【支部交流発表 1.】

「Social Problem Films の教育的利用について」

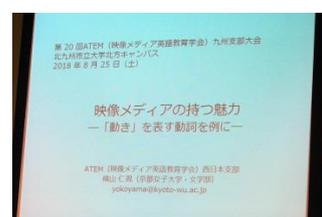
河野 弘美 (京都外国語短期大学)



【支部交流発表 2】

「映像メディアの持つ魅力 —「動き」を表す動詞を例に—」

横山 仁視 (京都女子大学)



大会終了後には懇親会も行われ、和やかな雰囲気の中で会員および支部間の交流を深めることができたのは、大きな収穫だったと感じています。

(文責・写真提供 吉村 圭、福田 浩子)

